

保護者の皆様

川崎市立柘形中学校
校長 大津 裕一

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と
柘形中学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先般、4月19日（火）に3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の各学校の調査結果が届きました。調査結果をもとに、本校の学校教育目標ならびに学校経営方針を踏まえ、学校作りに生かす視点から分析を行いましたので、今後の取組についてご報告いたします。

本校の学校教育目標は

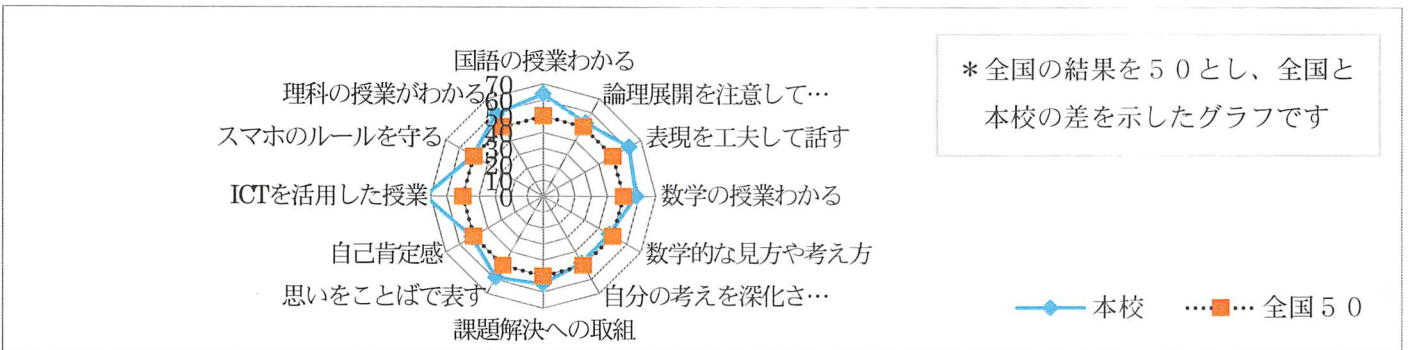
- ① 学力を高め、自ら考え正しい判断ができる人（知）
- ② 美しい豊かな心を持ち、思いやりがあり、助け合える人（情）
- ③ 責任を重んじ、実行力のある人（意）
- ④ 体力を高め、健康で自分を大切にすること（体）

であります。また、今年度も重点目標の一つに「授業力の向上」を掲げて、授業実践に取り組んでおります。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。したがって、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

今後も生徒一人一人に寄り添った教育活動の推進に努めてまいります。

1. 調査結果概要



2. 調査結果をもとにした今後の取組

成果 課題 分析

(1) 国語の調査結果

※示している数値・・・「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計（ ）は今年度全国の数値

[昨年度の取組]：授業の中で、話し合い活動に力を入れて指導し、漢字の小テスト等も行い、語句の学習を習慣づけることで、日常生活の中でも語句を正確に使える力を育むことに努めました。

[今年度の結果と分析]

- ①国語の授業が分かりますか …94.7%(81.2%)
 - ②表現を工夫して話す…63.4%(51.8%)
-
- ①必要な情報を引用し書き加える。…35.7%(46.5%)
 - ②同じ表現の技法を選択する…22.3%(52.5%)

- ①課題となる内容を整理した成果だと思われます。
- ②授業中グループワークを取り入れ、互いに表現し合う機会を設けた成果だと思われます。

- ①文の中から根拠となる部分を抜き出すことが課題だと捉えています。
- ②表現の技法についての理解が不足していると捉えています。

(2) 数学の調査結果

※示している数値・・・「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計（ ）は今年度全国の数値

[昨年度の取組]：思考力、判断力、表現力等を育成するために、公式や定理が成り立つ理由を理解し、そのことを通し、自分の考えを表現する課題設定やお互いの考えを交流する授業展開に積極的に取り組みました。

- ①数学の勉強は好きですか 72.5%(58.1%)
- ②数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか …78.7%(75.2%)

①数学の思考・判断・表現…33.8%(36.2%)

- ①全国平均を上回ることができました。日頃の授業を通じて、一人ひとりにきめ細かく指導して数学で考えるよさやその楽しさを伝えてきた成果と捉えております。
- ②全国平均を上回っており、意欲的に授業に取り組んでいる生徒が多いことがうかがえます。
- ①全国平均を下回っており、より深く学ぶ姿勢が課題と捉えております。

(3) 理科の調査結果

- ①理科の勉強は好きですか 84.0%(66.4%)
- ②ICT を活用した授業ができたか …74.4%(50.9%)

①理科の思考・判断・表現…49.7%(51.0%)

- ①生徒の興味・引き出す工夫をした成果だと思われ
ます。
- ②ICT を活用した作品作りや、調べ学習に役立
てるなどした結果だと思われ
ます。
- ①全国平均を下回っており、思考・判断・表現は課
題として捉えております。

3. 生徒質問紙の調査結果

※示している数値・・・「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計（ ）は今年度全国の数値

[昨年度の取組]：キャリア在り方生き方教育の推進において、「気づき、考え、行動する」生徒の育成をめざし、「学校で ICT 機器を他の生徒と意見交換や調べ学習に使用する」項目においても全国平均を上回ることを目指しました。

- ①学校で ICT 機器をどの程度使用しているか
他の生徒と意見交換…20.4%(17.8%)
調べたりするため…63.7%(37.2%)

①学校で ICT 機器を使って自分の考えを発表する
…9.7%(15.0%)

- ①全国平均を「意見交換」は 2.6 ポイント、「調
べ学習」では 26.5 ポイント上回りました。
- ①全国平均より 5.3 ポイント下回り、自己表現の
ツールとしての ICT 活用を課題として捉えて
います。

【今後の取組】

国語では、グループワークをさらに推し進め、実践の中で表現力を養い、「表現の技法について」理解する事項の平均正答率が全国平均を上回ることを目指します。数学では、「数学的な思考・判断・表現」の向上を目指し、記述式問題の正答率が全国平均を上回ることを目指します。また、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりするツールとして「学校で ICT 機器を他の生徒と意見交換や調べ学習に使用する」という設問に対しては全国平均を大きく上回る結果となりました。今後もより一層、授業中に学習の成果を共有するために、発表する場面を設定し、「気づき、考え、行動する」生徒の育成を目指し、「学校で ICT 機器を使って自分の考えを発表する」項目においても全国平均を上回ることを目指します。

教育委員会より

今年度、重点目標の一つに「授業力向上」を掲げ、きめ細やかな授業実践を重ねてきたことが、基礎学力の定着につながったとうかがえます。また、ICT機器を活用した授業を展開していることが、生徒の学習意欲を高め、理解度を増すことにつながっているものと考えております。今後は、課題意識をもち自ら行動することができる生徒の育成に期待しております。

多摩区・教育担当